

## 病気の子どものトータルケアセミナーin 大阪 2011

### ケースの概要と保育士としての課題

あなたの病院に次の子どもが入院してきました。翌日朝の看護師からの申し送りで、本日から出会うように依頼がありました。本日出会って、保育士としての自己紹介をし、子どもと家族の情報を得てください。

そのときの情報をもとに、次の日の遊びを提供します。

#### <ケースの概要>

氏名：小原春花（はるか）（愛称 はるちゃん） 4歳1カ月 女児

診断：マイコプラズマ肺炎 髄膜炎（疑い）

家族：小原修（30歳）会社員

小原陽子（32歳）教師

小原武志（愛称 たけちゃん）（1歳9カ月）

アレルギー：小麦粉

興味関心：プリキュアが大好き お気に入りの絵本とぬいぐるみがある

発達面：とくに問題なし

社会面：幼稚園年少クラス 仲良しは舞ちゃん、良子ちゃん、和代ちゃん家でよく一緒に遊ぶ

#### 経過と看護師からの申し送り事項：

はるちゃんは数日前から咳が目立つようになり、39℃の熱、頭痛と吐き気を訴えて受診してきました。診察の結果、マイコプラズマ肺炎、髄膜炎（疑い）と診断され、即入院することになりました。

今朝も咳があり、体温 37.0℃、昨日に比較すると表情に余裕が出てきたが、活気はなく、母親も心配そうです。しばらくベッド上安静になりますが、本児の体調をみながら、関わってほしいとの看護師の依頼です。

看護師からの情報は下記の通り。

症状が落ち着くまではベッド上安静。検査もあるので、しばらく検査・処置への恐怖心などもおこりやすい。持続点滴をしているため、おしっこが近い。食事は1/2程度を摂取。

母親によれば、はるちゃんは、初めての人や場所に慣れにくい。初めての入院で戸惑っている。ただ、慣れたらおてんばなで、甘えん坊のところもある。幼稚園の先生からは、がんばりやさん、頑固な面もあるといわれているとのこと。

母親は教師をしており、日ごろなかなか本児と関われず、体調不良を見逃していたのではないかとご自分を責めるような発言もある。回復まではそばに居てやりたいと休暇を取られた。また、家に1歳9カ月の弟がおり、弟の体調も心配している。弟については、昼間は父方の祖母、夜は父親が面倒を見ているとのこと。

#### <セミナーの当日、母親のロールを受け持った人が決める事柄>

本人の生活リズム 本人の好きな絵本とぬいぐるみ（病院に持ち込んでいるかどうか）

本人の朝の様子 ぬいぐるみを持ってきてほしいと泣いている、などなど

家族の様子 自宅と病院の距離 その日の母親の疲労度 その時々の母親のさまざまな要望

<保育士としての課題>

1. その日のうちに本児、母親と出会い、保育士の存在を知ってもらい、今後のために必要な情報を収集します。  
ロールプレイを行います。
2. アセスメント表に記入していきます。(記入法は谷川が説明します)  
保育士以外のみなさんも同様に記入
3. 次の日、回復の兆しがあるところでの、遊び活動を行います。  
ロールプレイを行います。

あらかじめ準備している素材、道具類

わりばし・アルミホイル・紙皿・紙コップ・画用紙・ひも・毛糸・折り紙・輪ゴム・マジック・のり  
セロテープ・はさみ・色つき塩・身近な医療に関する備品（マスク、グローブ、シリンジ等）  
Wammy・ぬいぐるみ・枕・あきばこ・ままごとセット・パネルシアター